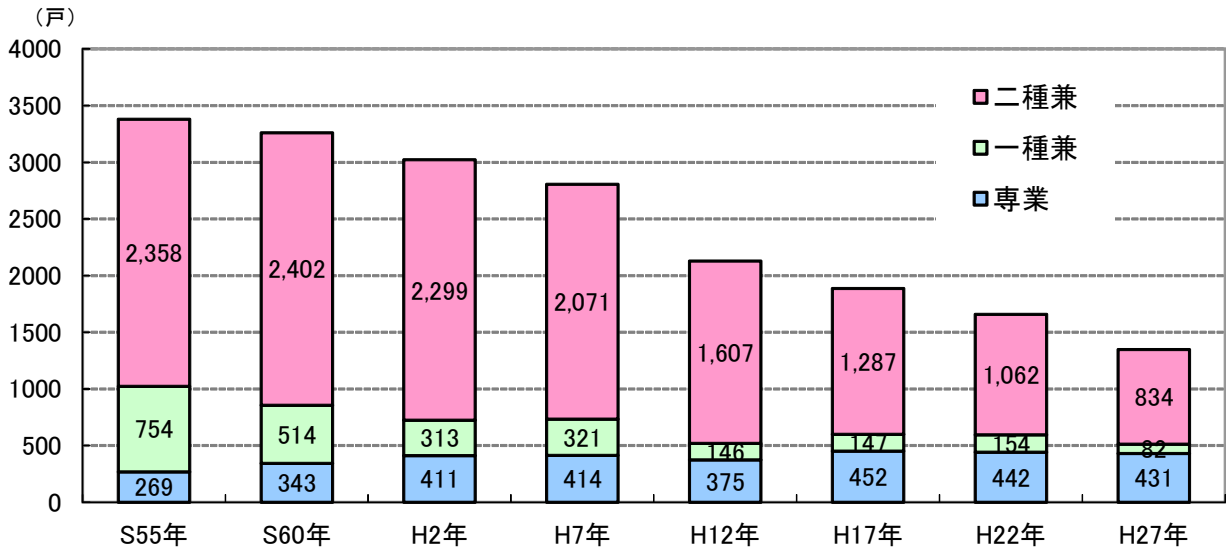


3 農業の現状と取組

(1) 農業の就業構造

○農家戸数は年々減少しているが、専業農家数は増加傾向にある。

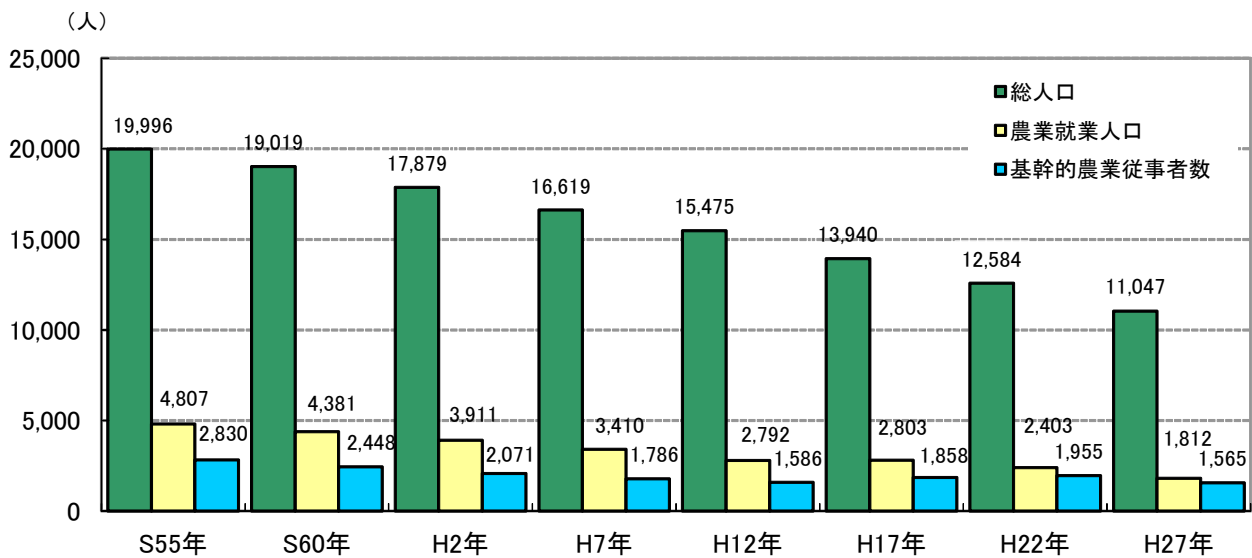
日野郡専業兼業別農家戸数の推移



出展：農林業センサス（2015）

《参考》

日野郡の総人口、農業就業人口、基幹的農業従事者数の推移



出展：農林業センサス（2015）及び鳥取県勢要覧

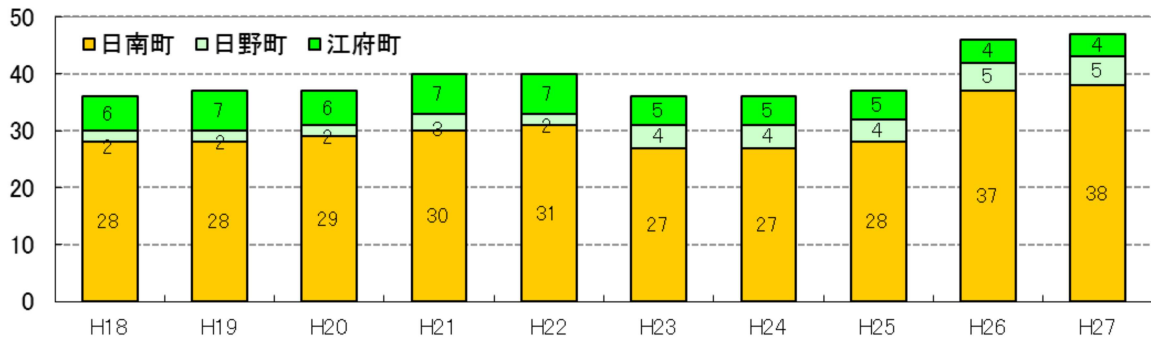
注1）農業就業人口とは、自営農業従事者のうち、農業が主である者（兼業で農業が主である者も含む）をいう

注2）基幹的農業従事者数とは、農業就業人口のうち、ふだん仕事として農業に従事している者をいう

(2)担い手の状況

認定農業者数の推移

○平成27年度は、日南町で新規認定1件あったが、日野町、江府町では横ばいである。



※日野振興局調べ

○郡内の組織経営体数は少ないが、近年は高齢化による労力不足対策として法人化の動きが進んでいる。

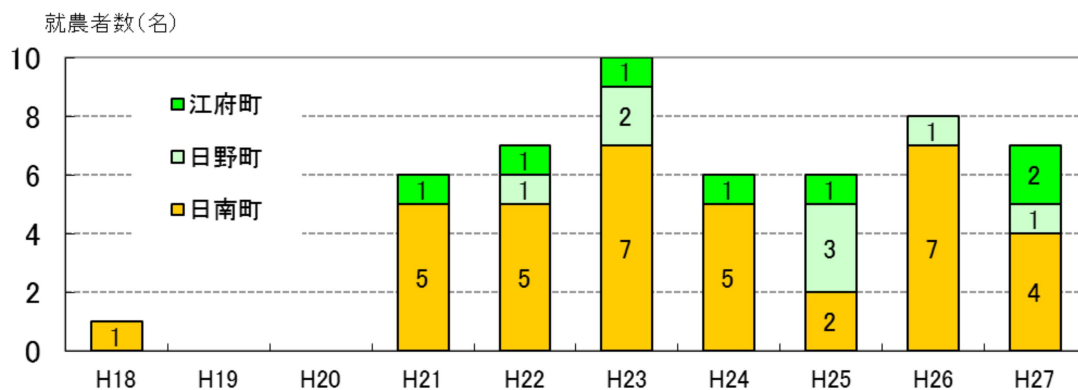
農業経営体数

区分	農業経営体数	うち法人数	
		うち法人数	集落営農法人数
日南町	711	19	9
日野町	260	3	2
江府町	424	3	1

出展：農林業センサス（2015）及び日野振興局調べ

新規就農者数の推移

○平成27年度の新規就農者数は日南町4名（うち法人等就業者1名）、日野町1名（うち法人等就業者0名）、江府町2名（うち法人等就業者0名）の計7名となっている。



【参考】

※経営支援課調査取りまとめ（平成27年度）

○日南町においては、平成21年度から地域振興公社（平成25年4月1日から「一般財団法人エナジーにちなん」へ解散再設立）が主体となり2年間の農業研修制度を開始。

平成21年度：8名研修 ⇒うち7名が平成23年度から就農。

平成22年度：4名研修 ⇒うち1名が平成24年度から就農。

平成23年度：1名研修

平成24年度：3名研修 ⇒うち1名が平成26年度から就農。

平成25年度：3名研修 ⇒うち2名が平成27年度から就農。

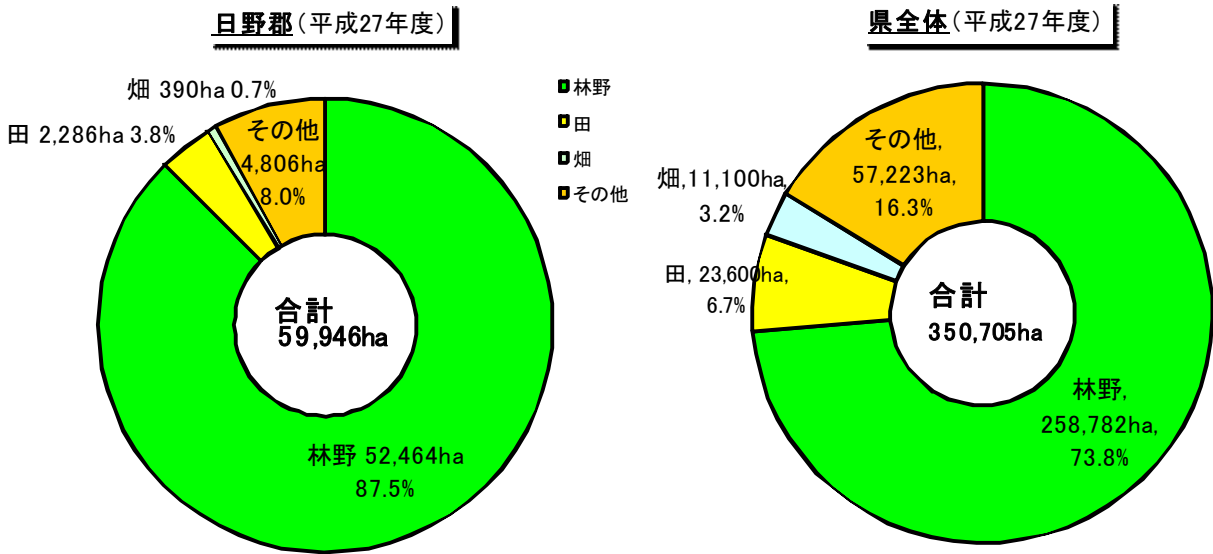
平成26年度：3名研修

平成27年度：4名研修 ⇒うち1名が平成29年度から就農予定。

平成28年度：3名研修 ⇒うち1名が平成29年度から就農予定。

(3)土地利用の状況

○林野率は87.5%と、県の73.8%に比べて高い。

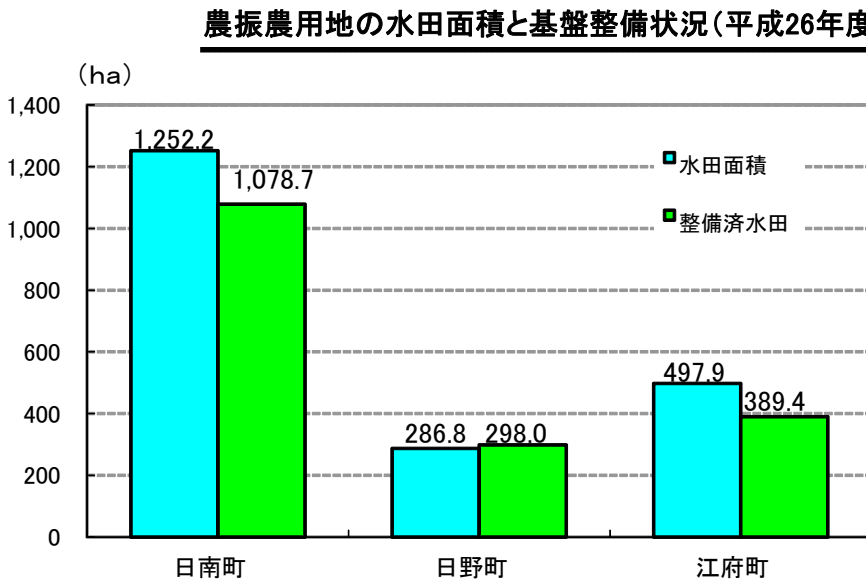


出典：鳥取農林水産統計年報 中国四国農政局統計部 平成26年～27年

(4)農業基盤の整備状況

○日野郡の水田整備率は、日南町86%、日野町104%、江府町78%である（県平均85%）。

○整備済水田面積は昨年とほぼ同じであり、水田整備率もほぼ横ばいである。



出典：平成27年度ほ場整備率調査結果

(5)主な農畜産物の生産販売と取り組み

① 水稲

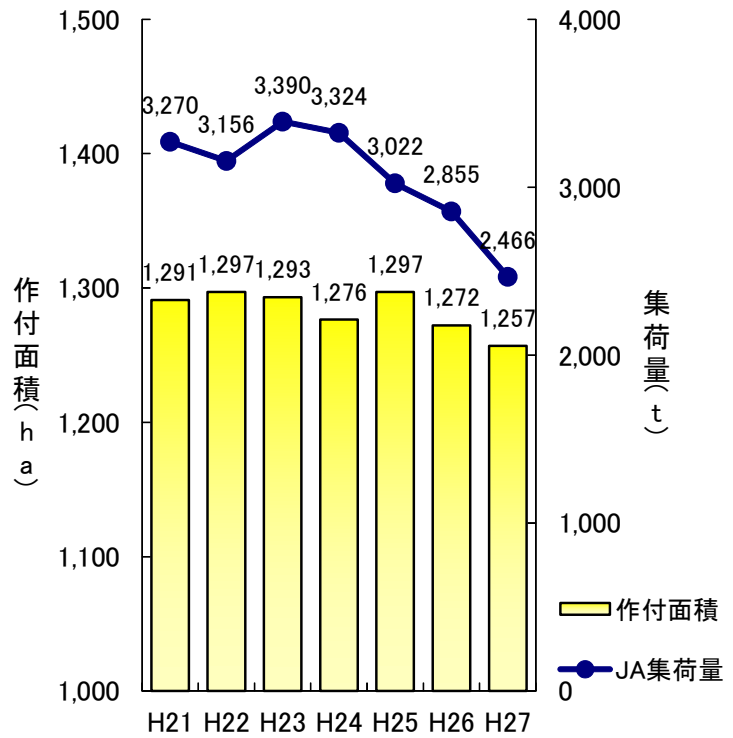
【栽培面積・集荷量】

○日野郡の水稲（加工米を含む）作付け面積は、約1,300haである。主食米のうちJAへの出荷量は、年々減少している。

【生育状況・作況】

○平成27年度は、8月の日照不足やいもち病の被害が発生した。作況指数（平年＝100）は100（県作況指数99、全国作況指数100）となった。

水稲の作付面積とJA集荷量の推移



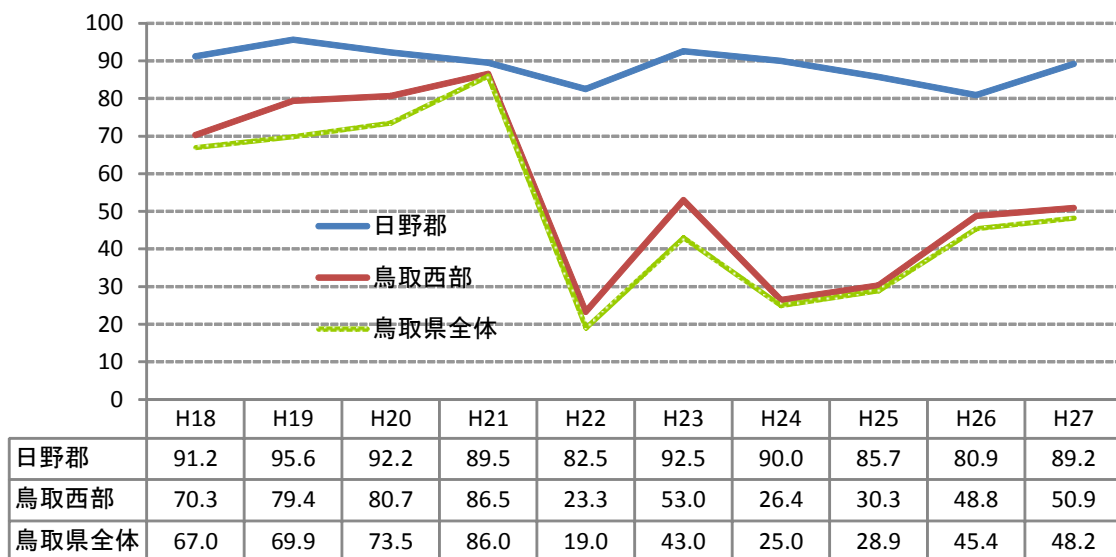
出典：集荷量は平成28年度JA鳥取西部資料より、

作付面積は鳥取県農業再生協議会総会（平成27年12月）資料より

【1等米比率】

○平成27年度の1等米比率は日照不足により県内の比率が低下するなか、日南町94.4%、日野町89.3%、江府町80.3%と高い水準を維持している。（県平均48.2%）

一等米比率の推移(うるち米) (%)



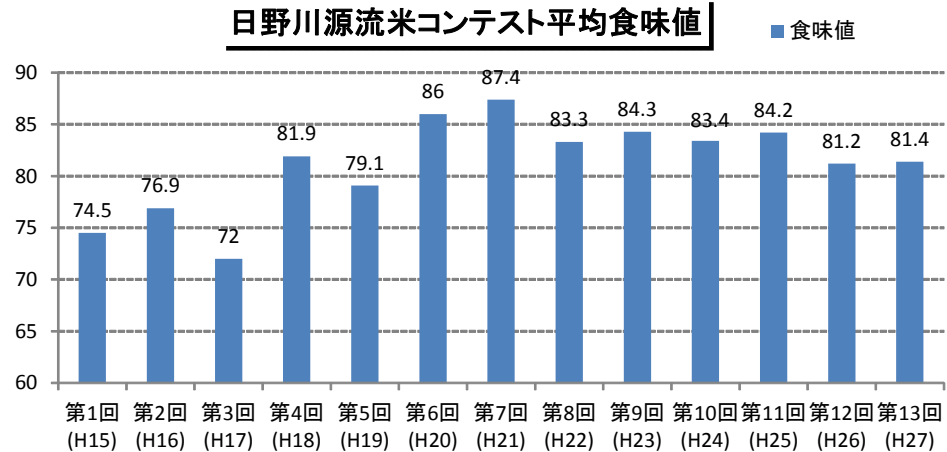
出展：農林水産省 米穀の農産物検査結果（平成27年3月31日速報値）及び平成27年度日野郡産米改良協会資料

【食味値向上の取り組み】

○日野郡の特徴である「おいしいお米」をさらにレベルアップさせるため、平成15年から日野川源流米コンテストを開催。

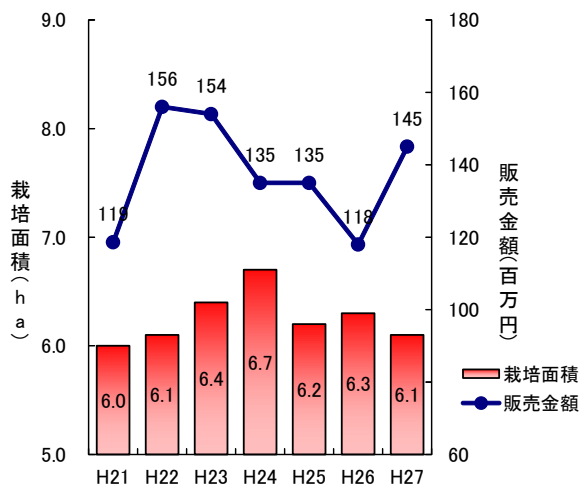
平成20年以降は良食味米の生産技術が定着したため、コンテストにおける平均食味値はおいしいとされる80以上である。

日野川源流米コンテスト平均食味値



※日野振興局調べ

トマトの栽培面積と販売額の推移



出典：JA鳥取西部資料（平成28年度）

② トマト

【栽培面積・販売額】

○平成27年度の栽培面積は、日南町5.5ha、江府町0.6haである。平成23年度から新規就農者が加わったことにより栽培面積は増加したが、平成25年度以降は高齢化に伴う規模縮小の影響が大きく、再び減少に転じた。

○平成27年から日南町で新品種りんか409が導入され、収量が向上した。

【産地の取り組み】

○日南町では、平成23年度に選果場が再整備（色彩選別機導入）された。

○また平成26年度には「旨い果菜の里づくりプラン」を策定し、産地の維持・振興に取り組んでいる。

③ 白ねぎ

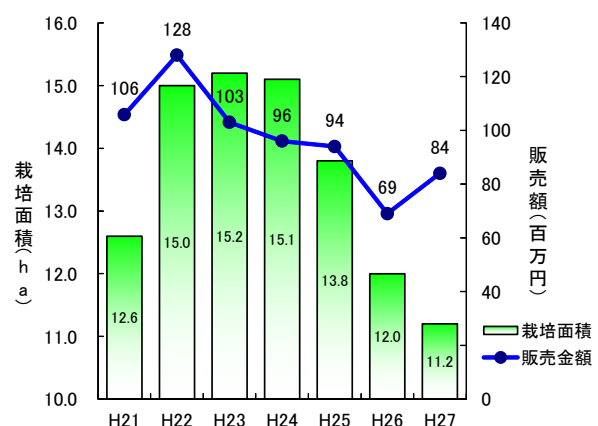
【栽培面積・販売額】

○平成26年度の栽培面積は、日南町5.9ha、日野町1.5ha、江府町3.8haである。販売額は平成25年、26年は高齢化による栽培面積の減少の影響等により減少している。

【産地の取り組み】

○平成24年度、JA鳥取西部中心に白ネギを振興するプランが作成され、生産者の確保や栽培面積拡大に取り組んでいる。

白ねぎの栽培面積と販売額の推移

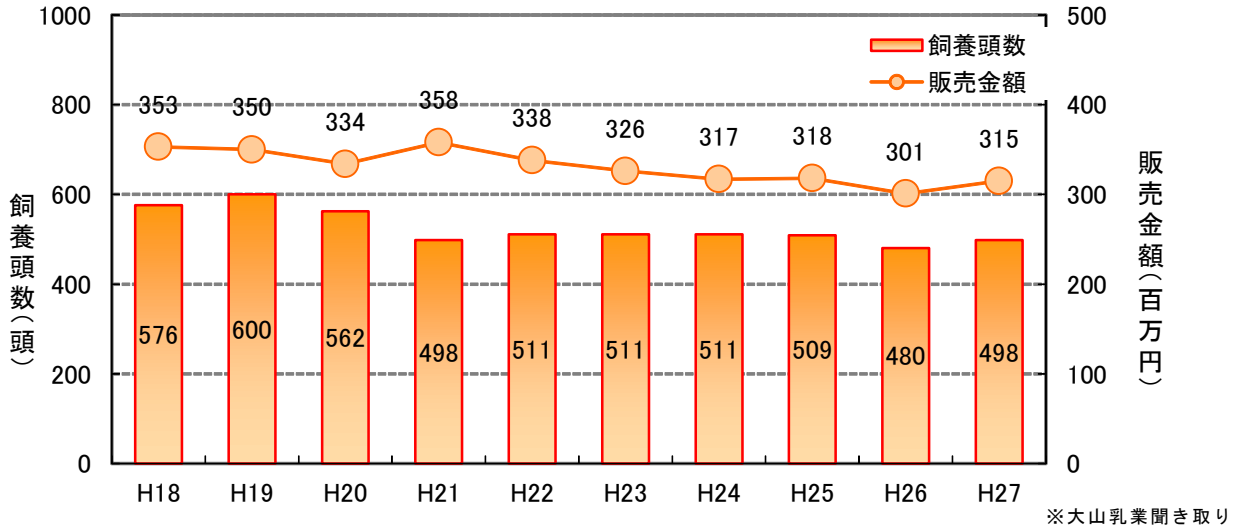


出典：JA鳥取西部資料（平成28年度）

④ 乳用牛（牛乳）

○生乳は、平成17年から全国的に生産過剰基調となり、平成18、19年と生乳の減産となる生産調整が実施され、日野郡内の飼養頭数は減少した。平成20年に入って生産調整は解除されたが、現在も回復には至っていない。

乳用牛（牛乳）の年次推移



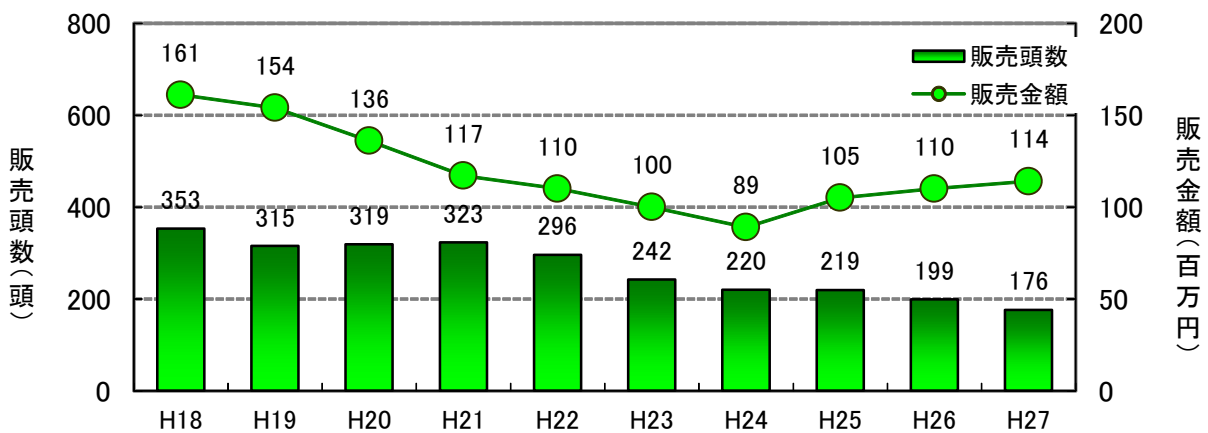
⑤ 和牛子牛

○日野郡内では、平成13年から取り組んだ優良雌牛導入事業の成果により牛群改良が進み、さらに平成19年に全国和牛能力共進会が県内で開催された影響もあって、子牛の販売単価は高値で推移してきた。

○平成20年の後半からは、景気の後退を反映して価格が低下していた。

○平成22年以降は宮崎県の口蹄疫及び東日本大震災の影響により、全国的な^{もと}素牛不足のため単価が上昇。「白鵬85の3」、「百合白清2」という全国に誇れる県有種雄牛の誕生により、現在は全国トップクラスのせり市場価格となっている。

和牛子牛の年次推移

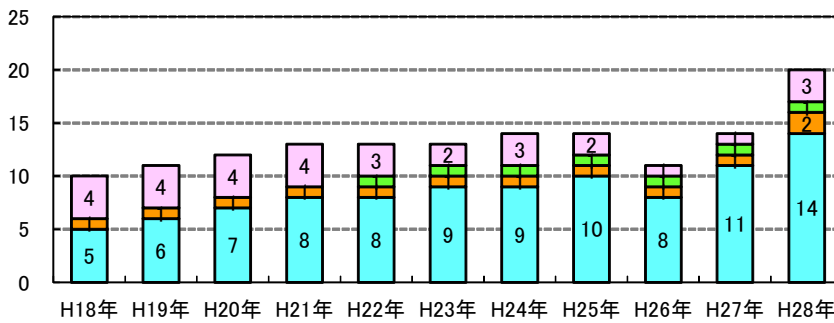


(6) 環境に優しい農業の取り組み状況

① 特別栽培農産物登録

- 鳥取県特別栽培農産物登録件数はここ数年横ばいで推移していたが、平成28年に20件と増加した。
- 面積は水稲、ソバが多い。栽培面積は近年横ばい傾向であったが、平成28年に水稲を中心に30ha以上増加した。

特別栽培登録件数

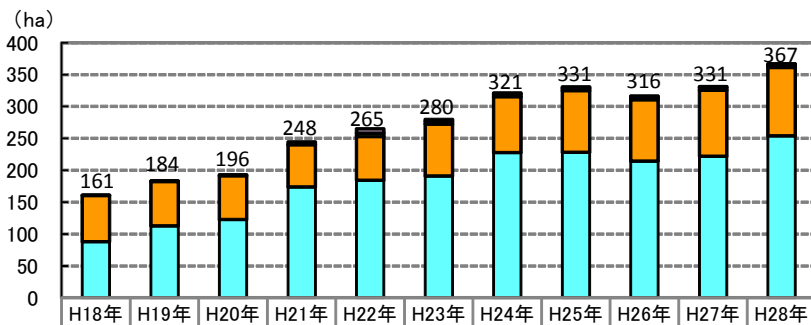


注1)特別栽培農産物とは、農林水産省が定めた「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に従って生産された、化学合成農薬及び化学肥料の窒素成分を慣行レベルの5割以上削減して生産した農産物をいう。

※平成28年12月末日野振興局調べ

特別栽培面積

(棒グラフ上の数値は、合計面積)

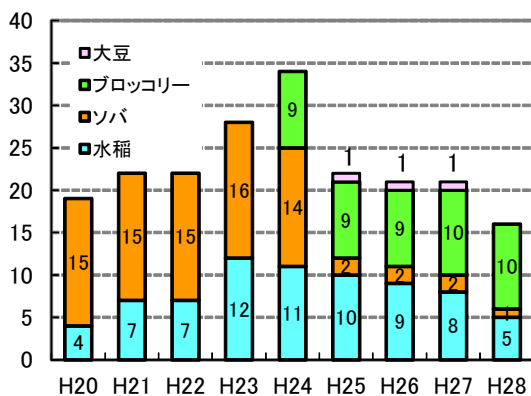


※平成28年12月末日野振興局調べ

② 持続性の高い農業生産方式に関する計画

- 平成24年をピークに徐々に減少している。

エコファーマー認定数

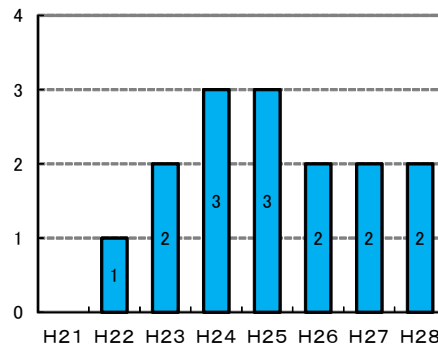


※日野振興局調べ(12月末延べ数)

③ 有機JAS認定

- 平成28年は2名の生産者が水稲、エゴマで認定を受けている。

有機JAS認定数



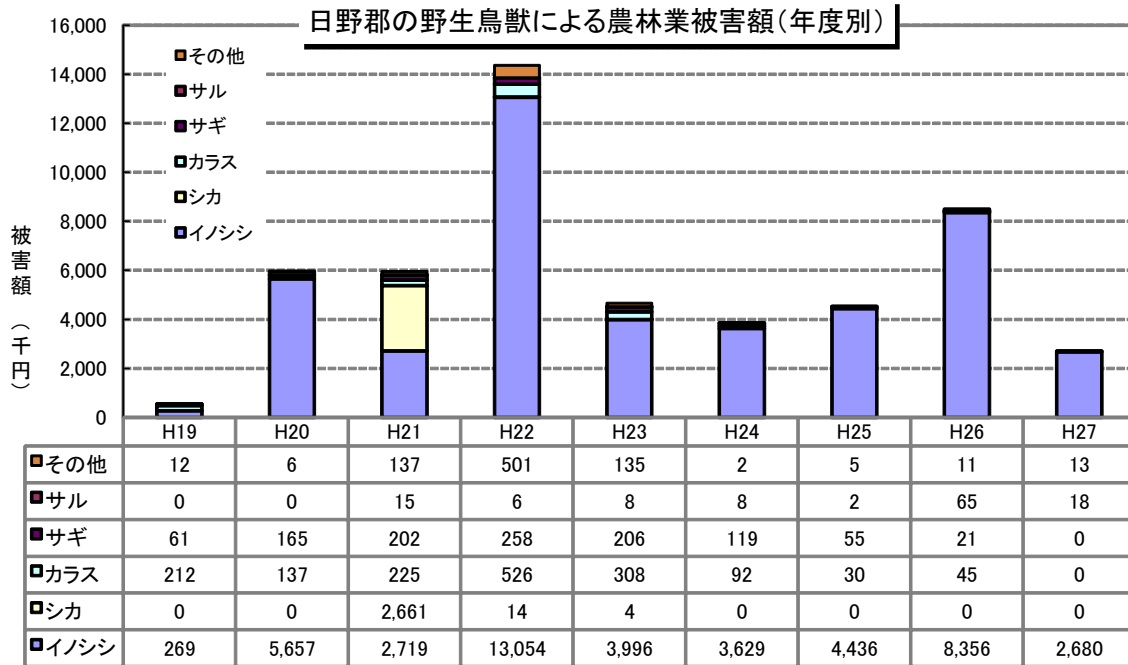
※日野振興局調べ(12月末調べ)

注)エコファーマーとは、持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律施行規則(平成11年農林水産省令第69号)に基づき、計画認定を受けた農業者をいう。

(7) 鳥獣被害と対策

①被害額

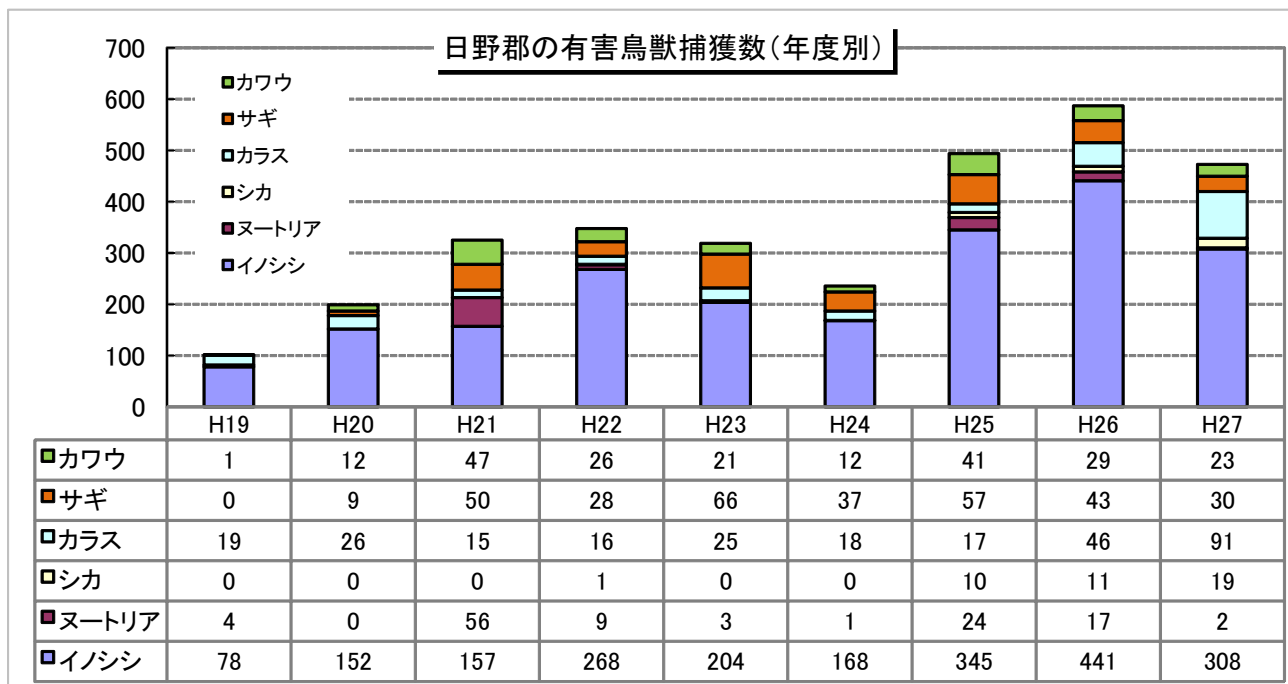
○日野郡内の野生鳥獣による農作物被害額は平成22年に急増し14,000千円となったが、平成23～25年度は4,000千円～5,000千円で推移した。平成26年度に再び増加し8,500千円となったが、平成27年度は2,700千円に減少した。被害のほとんどはイノシシによるものである。



※日野振興局調べ

②有害捕獲許可による捕獲数

○イノシシの直近3年の捕獲頭数は大幅に増加し、300頭以上で推移している。カラスの捕獲羽数は、平成27年度は91羽と最も多かった。



※日野振興局調べ

【参考データ】 農業産出額及び生産農業所得

	農業産出額(上段:億円、下段:%)						生産農業所得			
	米	野菜	果実	畜産	その他	合計	合計 (億円)	農家1戸当り (千円)	耕地10a当た り(千円)	
平成16年 (日野郡)	14.9	6.7	0.1	21.1	1.6	44.4	14.2	548	52	
	(34)	(15)	(0)	(48)	(4)	(100)				
平成17年 (日野郡)	15.4	5.5	0.1	20.3	0.9	42.2	13.4	561	50	
	(36)	(13)	(0)	(48)	(2)	(100)				
平成18年	日南町	8.8	2.8	0.1	15.5	0.4	27.6	7.9	674	52
		(32)	(10)	(0)	(56)	(1)	(100)			
	日野町	2.1	0.5	0	1.3	0.1	4	1.5	270	35
		(53)	(13)	(0)	(33)	(3)	(100)			
	江府町	3.8	1.8	0	1.6	0.3	7.5	3	450	40
		(51)	(24)	(0)	(21)	(4)	(100)			
郡計	14.7	5.1	0.1	18.4	0.8	39.1	14.2	594	52	
	(38)	(13)	(0)	(47)	(2)	(100)				
県計	160	169	77	220	59	685	218	622	61	
	(23)	(25)	(11)	(32)	(9)	(100)				
平成19年 (鳥取県)	148	182	84	217	51	682	220	629	62	
	(22)	(27)	(12)	(32)	(7)	(100)				
平成20年 (鳥取県)	160	200	69	223	50	702	237	677	-	
	(23)	(28)	(10)	(32)	(7)	(100)				
平成21年 (鳥取県)	146	185	60	223	45	659	208	-	-	
	(22)	(28)	(9)	(34)	(7)	(100)				
平成22年 (鳥取県)	132	198	66	231	38	665	227	-	-	
	(20)	(30)	(10)	(35)	(6)	(100)				
平成23年 (鳥取県)	156	185	67	232	36	676	229	-	-	
	(23)	(27)	(10)	(34)	(5)	(100)				
平成24年 (鳥取県)	177	191	72	207	37	684	239	-	-	
	(26)	(28)	(11)	(30)	(5)	(100)				
平成25年 (鳥取県)	154	190	68	231	36	679	230	-	-	
	(23)	(28)	(10)	(34)	(5)	(100)				
平成26年 (鳥取県)	110	193	67	246	37	653	218	-	-	
	(17)	(30)	(10)	(38)	(6)	(100)				

出典:平成26～27年鳥取農林水産統計年報(中国四国農政局鳥取地域センター)。なお、第56次から市町村別データは非開示。